

2019年度 合格体験記 Y. K (通信生、30代)

〈1年目の受験を終えて〉

私は2017年の9月から学習を始めました。その年の一次試験は一発合格、二次試験の大手予備校の模試でも合格圏内の評価を獲得し、正直、それなりに受かる自信を持っていました。

意気揚々と臨んだ二次試験の結果は、予想に反し不合格。結果は、

「事例：1 B 事例：2 C 事例：3 C 事例：4 A」

と大惨敗。

そう、私は身の程知らずの勘違い野郎だったのです！多くの受験生が涙を飲むこの試験がそんなに簡単なわけがありませんでした。

「何が悪かったのだろう、どうすれば合格できたのだろう」そんなことを毎日ぼんやり考えながら、合格できなかつた悔しさや絶望感が頭の中を支配する辛い日々を送っていました。

ある日、同じく不合格となった勉強仲間から「来年の予備校どうする？」との連絡、毎年高い合格率を誇ると噂で聞いていたMMCに私は何となく惹きつけられ、「今年はMMCでいくよ」と決意を新たに2年目の学習を開始しました。

〈MMCで学んでみて〉

MMCで学習を開始して驚きました。今まで自分が自信をもって書いていた解答では全く点数が伸びません。なぜだろうと解説動画を見る中で、私の解法は様々な予備校のメソッドをつまみ食いのように中途半端に身に付け、さらに自分の感性や直感に依存した場当たりの解答をしていると痛感させられました。

「このままでは今年も受からない！」と危機感を覚えたため、今まで覚えたことを一度リセットして、MMCのメソッドにどっぷり浸かってやろうと思いました。

MMCの解答メソッドには本当に感心させられました。80分という短い試験時間の中で、安定的に合格答案を作成する方法やテクニックを講師の先生方が惜しげもなく教えてくれるのです。その内容も明確であり、どんな人でも真似することができるレベルであるため、インプット→実践という過程の中で確実に自分のものとしていくことが出来ました。私はそのメソッドを忘れる事のないように一冊のノートにまとめて、スキマ時間で勉強できるように肌身離さず持ち歩いていました。そんな学習生活を送る中で、答練や模試の点数も安定して、去年とは違う自信を持って試験当日を迎えることが出来たのです。

試験当日、やることはやったという印象を持ち、合格発表の日を迎えました。私は仕事場のパソコンでそっと診断協会のホームページを開くと、そこには私の受験番号は確かにありました。こうして、私の 2 年以上に渡る受験生活に終止符が打たれました。

〈結びに〉

今回、私が合格を勝ち取ることができた最大の要因は、MMC のメソッドだけを信じて、実直に演習を繰り返したことです。この試験は模範回答が公表されないことから、何が正解か分からないまま、暗闇をさまようが如く学習を進める怖さがあります。それは時として、努力を重ねたにも関わらず、誤った方向に進んでしまう危険性すら秘めていると思います。(1 年目の私がそうでした) そのため、自分が信じる確かな方法を一つ決めたら、それをだけを実直に繰り返し前に進むことが合格への近道と思います。

最後まで私の拙い合格体験記をお読みいただきありがとうございました。皆様の合格を祈願しております。

また、MMC の講師の先生方には最後まで手厚いサポートを頂きありがとうございました。この場をお借りして感謝を申し上げます。